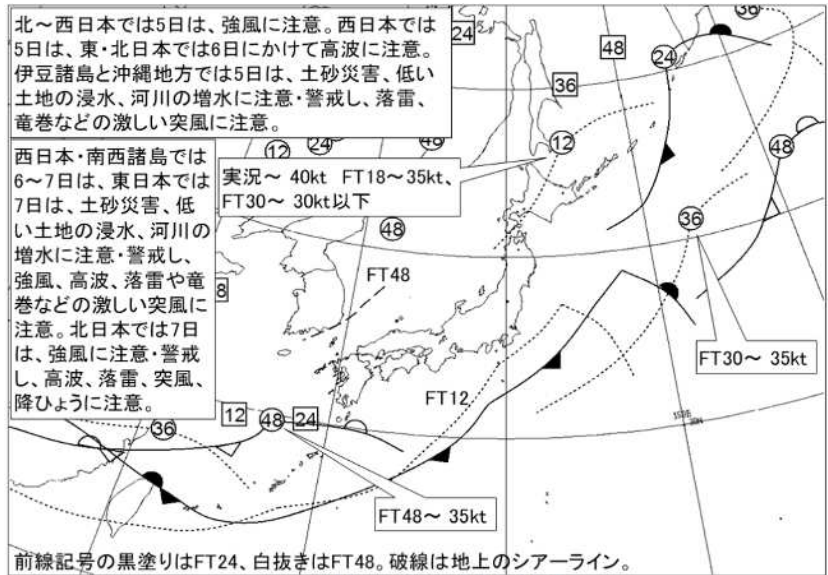


### 1. 実況上の着目点

- ① 西～東日本を通る上空の強風軸の北に進み、前線から切り離された低気圧が日本海を北東進。前線の東側は本州南岸にのび、強い南風により下層暖湿気が到達している東日本太平洋側で強い雨を解析。西側は南西諸島まで南下し停滞。850hPa相当温位336K以上が流入する北緯30度以南で発雷、激しい雨を解析。500hPa 5760m付近のトラフ前面で組織的な雲域が沖縄地方にかかってきた。
- ② 日本海北部を東進している低気圧の西、沿海州南部を東進する正渦を衛星水蒸気画像で確認。



主要じょう乱解説図

- ③ 5～6日に西日本に飛来が見込まれる黄砂について、目立った実況が認められず予測は過大とみる。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、5日朝には北日本に到達して不明瞭化する。一方、日本海北部からオホーツク海に進んだ1項②の低気圧が上層正渦度の移流により発達傾向をもち北東へ進む。南岸の前線は5日朝以降は本州から離れ、その東側の強い南風域も日本の東を遠ざかるが、南西諸島では前線が停滞する。前線に流れ込む下層暖湿気の影響で、伊豆諸島や沖縄地方では5日昼頃まで雷を伴った激しい雨の降る所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。低気圧や前線と日本の東の高気圧との間で気圧の傾きが急となっており、5日の目先は東・北日本太平洋側で非常に強い風が吹くほか、北～西日本では5日は強風、高波に注意。東・北日本の太平洋側では、うねりの影響で6日にかけても高波に注意。
- ② 6日朝までに、500hPa 5760m付近の強風軸に対応した前線を伴う低気圧が東シナ海で発生し、7日朝にかけて西日本の南海上、7日の日中には伊豆諸島近海を進む。低気圧西側では前線は南西諸島を南下する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。また、低気圧や前線の影響で、強い風が吹き、波が高くなる所がある。南西諸島や九州南部では6～7日は、西～東日本太平洋側では7日には、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、強風や高波、落雷、突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 7日には、上空に強い寒気を伴うトラフの前面で低気圧が発達しながら日本海中部から北海道を横断し千島近海に進む。低気圧に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる。北海道地方では強風に注意・警戒。北日本や東・西日本日本海側では強風、高波、落雷、突風、降ひょうに注意。北・東日本の多雪地では引き続き、なだれや融雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島・東海5、北海道・東北・近畿4、四国3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。